

「夫婦で営む建築設計事務所を併設した住宅」(木造2階建て)

1階平面図兼配置図、2階平面図、2階床伏図兼1階小屋伏図、立面図、断面図[縮尺1/100]
部分詳細図(断面)[縮尺1/20]、面積表、計画の要点等

(注) 答案用紙には、1目盛が4.55ミリメートル(部分詳細図(断面)については10ミリメートル)の方眼が与えられている。

(注意事項) 試験問題を十分に読んだうえで、「設計製図の試験」に臨むようにしてください。なお、解答内容が、設計条件を充たしていない場合や要求図書に対して不十分な場合には、「設計条件・要求図書に対する重大な不適合」と判断されます。

本年度対策のポイント

【近年の傾向からの対策ポイント】

2級建築士製図試験の傾向が徐々に変化してきています。2017年木造では、外壁仕上の乾式工法(サイディング等を使用)の指定。将来の改造を前提に構造的に改造後も対応できるよう配慮する(納戸を将来他の室より出入りできる便所とする)+子ども室を将来間仕切って2人目の子どもが生まれても対応できるようにする。階段のケアゲの指定など。2018年RC造では、延焼ライン記載の要求。外観・外構において地域住民交流できるカフェとしての工夫。建築物の環境負荷低減(省エネルギー等)についての工夫の要求。

この傾向は、設計者として、より責任をもった建物を設計するように意図しているように感じます。環境に配慮し、将来の家族構成の変化、体調の変化にも対応できるよう構造的に対応し、法令を遵守する設計者として責任を持った設計をするようにです。

【夫婦で営む建築設計事務所を併設】

主な建築士の業務は、建物の設計と工事監理としての検査となります。施主であるお客さんを招いて打合せを行う際を考え、近年の傾向である外観・外構にてアピールすることを念頭に置いてください。その他の来客(施工者やメーカー、設備業者等)の出入りを考えると土足使用である事務所のイメージがありますが、モデルルームのような使い方を考えた場合、履物を脱いでの利用も考えられます。打合せスペース、設計スペース、保管スペース、過去の建築物の展示スペース、給湯室、便所などが所要室として考えられ、使い勝手の良い動線と来客のバリアフリー対応など出題の可能性が高いです。また、住宅部分との接続部分についても利用のしやすい動線、及び履物を脱ぐのか脱がないのかによる接続の仕方に工夫が必要です。夫婦で事務所を切り盛りすることを考えた場合、子どもが小さいのか、高齢者の親がいるのかでも、住宅部分と事務所の接続箇所は重要となります。

【住宅】

人員構成が非常に重要です。近年の傾向である将来の変化に対応できるよう設計してください。具体的には課題文にどのようにすべきか記載があることが多いので、読み落とさないように注意してください。将来どのような改造を行うのかによって構造的な対応をしてください。将来壁を壊して便所に通ずる出入口を設ける場合、その壁には構造的に柱や筋交いが入らないように設計しましょう。逆に将来壁を増設する場合は壁を受ける部材を建設時に設置しておく必要があります。子ども・高齢者によるバリアフリーに配慮し、各居室の配置を各個人に配慮した利便性を考慮して設計してください。

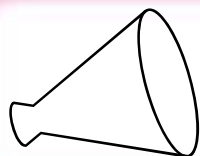
【木造2階建】

過去出題を調べると150㎡~270㎡と開きがあります。今年は動線分離に注意して設計することを心がけてください。お客さんが家族の住宅に間違えて行かないよう設計してください。設計事務所内でも来客がどこなら打合せに便利かを考慮して場所を決めましょう。人、車、自転車それぞれの動線・利用のしやすさを意識して、設計力(エスキス力)を養ってください。

【作図】

木造の年は作図量がありますので練習量に比例して結果がでる傾向にあります。断面図・部分詳細図(断面)においてどこを指定されても対応できるよう理解を深めて下さい。作図量だけでなく理解すべき項目が極めて増加しています。合格を獲得するために今日から2ヶ月間全力で練習しなければいけないと肝に銘じて下さい。そして今回例年になく(注意事項)の記載が課題発表時にありました。課題の日本語を正しく読み忠実に図面に表現し、綺麗に作図するように心掛けて下さい。作図スピードUP! もちろん、細かい条件を逃さないよう作図完了後の十分なチェックでしっかり得点すれば、必ず良い結果がみなさんに訪れることでしょう。

心からみなさんの合格の笑顔をお祈りします、がんばってください!



学科独学の受験生
完全サポーター宣言!



製図試験で失敗しない方法を
当学院の初回無料講座で
しっかりマスターしましょう。

